

Ⅱ. 経営方針

1.経営理念

◆ スローガン

つなぐ、はぐくむ、あなたの未来へ。 JA北九

【意図】

『つなぐ』は、

人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、食と農を結び、将来にわたって地域の社会に貢献していくとともに、新生JAとしての新たな覚悟を表しました。

- ・組合員と組合員、組合員や組合員組織とJA北九、JA北九と地域をつなぐ
- ・三位一体の力を発揮するため、3JAの地区や資源をつなぐ
- ・協同の精神や行動を未来へつなぐ

『はぐくむ』は、

人づくり、モノづくり、地域づくり、つまり、農業の担い手や高い能力を持つ職員の育成、地域農業の振興、地域密着活動などにより、組合員のくらしの向上、食料や自然環境への貢献、JAの信頼や経営基盤の拡大をしていく姿勢を示しました。

『あなた』は、

絆を深め育てていく第一義の対象である、組合員、地域住民、役職員を指しています。また、その集合体である、組合員組織、地域社会、JA組織、さらに、広く農村・自然環境、国家、農業を指します。

『未来』は、

農業協同組合には、組合員の財産や広く国民の農業、食料、自然環境、さらには生命（いのち）を守りはぐくむ使命があります。

この未来という言葉は、長い時間を見据え継続していく「運動体」としての姿勢を指します。

◆ 行動指針（ミッション4か条）

JA北九は、

1. 組合員の営農とくらしの向上に貢献します。
2. 地域農業の振興に努め、食料、環境に対する使命を果たします。
3. 人と人との絆を深め、事業を通じて地域に貢献します。
4. 事業運営の信頼性を高め、健全経営に努めます。

【意図】

1. は、「組合員」のための営農指導事業や生活・その他各種の事業により、農業協同組合の運動体として使命を全うし、組合員のしあわせのために貢献していくことを謳っています。

2. は、本来的な使命である地域の農業振興と、併せて、食料、自然環境に対する使命を果たすことを謳っています。

3. は、人を大切に、人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、地域の社会に貢献していく、新生JAとしての新たな覚悟を謳っています。

4. は、リスク管理、コンプライアンス遵守、利用者保護等、社会的責任（CSR）の発揮に努め、経営基盤の充実のため健全な経営を続けていく姿勢を謳っています。

2.経営方針

◆基本方針

『創造的自己改革への挑戦』

～農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くそう～

平成30年度は、中期3ヵ年経営計画の最終年度となり、その計画において重点実践分野として位置付けた「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の取り組みを更に推し進めていきます。

多様化する組合員の要望・意向・経営状況を把握するため、昨年に引き続きTAC（担い手に出向く担当者）を中心とした組合員訪問活動の徹底を図ります。また、新たな米政策への対応を始め、様々な課題解決に向けて営農経済部門一体となり担い手への経営支援に努め、生産拡大と所得増大に努めてまいります。

また、収益構造の転換を進めるため、総合事業が地域の生活インフラ機能として役割を發揮すること、および地域活性化のための活動に積極的に取り組むことで地域での事業利用を促進し、JA経営基盤の安定化を図ります。

◆重点事項

◇営農部門

中期3ヵ年経営計画で掲げた「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」に向けて、営農部門一体となって組合員の営農活動を支援します。

営農事業では、多様化する担い手の経営課題に的確に対応するため、TAC（担い手に出向く担当者による訪問活動を強化し、組合員との話し合いの徹底を図ります。

販売事業では、平成30年産からの米政策に対応し、需要に応じた米生産と農業諸政策活用による多様な農産物生産への誘導並びに集荷・販売体制の合理化を図り、品位等級・反収向上に努め農家所得の確保・増大を目指します。

直売所では、魅力ある店舗づくりに取り組み、地域住民・消費者へのJA北九農産物の情報発信に努めるとともに、地域の食育拠点としての役割を發揮します。

◇経済部門

資材の調達体制・供給体制の見直しに取り組むことで生産者の生産コスト低減を図ると同時に経済部門の収支改善に努めます。

また、平成31年9月から義務付けられた公認会計士監査に適切に対応できる経済事業の事務統一及び内部統制強化に取り組みます。

◇地域組織部門

組織活動については、組合員とJA及び地域とJAの絆づくりを目的に、女性部活動、青年部活動、支店ふれあい委員会活動など、組織活動の活性化に取り組めます。

資産管理事業では、組合員の資産有効活用ための学習会やセミナーを積極的に開催するとともに、より効率的な資産運用の提案に努めます。

◇葬祭部門

葬祭事業におけるJAの役割及び競合は年々高まっており、多様化する利用者ニーズに沿った葬祭・生花・仕出の提供を行うことで利用者満足度の向上を図り、組合員及び地域から選ばれる斎場づくりに取り組みます。

◇金融推進部門

金融情勢変化の中、総合力を發揮した事業展開により、組合員・利用者のくらしを支援し豊かでくらしやすい地域社会の実現に取り組めます。

また、次世代につながる地域密着型金融の充実を図り、安定した収益確保に向けた経営基盤の確立と未来を担う人材育成及び利用者満足度の向上に取り組めます。

◇金融業務部門

日銀のマイナス金利政策の導入以降、JAを取り巻く環境はかつてないほど厳しくなっています。JAの収益の柱である信用事業においては、貸出金の残高確保はもとより、貸出金による収益の確保に向けた取り組みを行います。

不祥事未然防止に向けては、各事業において徹底した臨店指導による事務堅確性定着に取り組み、地域から信頼される金融機関を目指します。

また、世代やライフイベントに応じたサービスや商品の提供を通じて、利用者・組合員一人ひとりとの関係を強化し、これまで築きあげた利用者基盤の維持・拡充を図ることと致します。

◇経営企画部門

JAグループとして対応が求められているJA自己改革の着実な実践および県下1JA構想への対応、ならびに当JAが抱える経営諸課題に適切に対応し、組織運営、収支基盤の確立に努めます。

また、経営の健全性・信頼性確保のため、各種リスク発生防止に必要な対応に取り組むとともに、平成31年9月から導入される公認会計監査に対応できる内部統制体制を確立します。

◇総務部門

JA自己改革を実践するため、協同組合運動者としてのメンバーシップ強化と組織目標実現に尽力する人づくりを進めるとともに、人事制度の適正な運用により、職員の能力開発・モチベーション向上に努めます。

また、組合員加入と事業利用・運営参画、施設再構築計画を進め、事業管理費の節減と余裕金の適正運用に努めます。

◇監査部門

JAの健全経営確保、信頼向上に向け、効率的かつ実効性のある内部監査を目指すとともに、公認会計士監査に向けた対応措置の検証・評価に取り組みます。